

ビデオ
16ミリ

社会教育/幼稚園/保育園/小学校(低学年)向
監修・指導:原田碩三



子育てのポイント

基礎体力づくり

環境にまけず、健全なからだをつくろう!

幼児・児童・青少年の体格は向上していますが、非常に奇異な現象が起きています。転ぶとすぐに骨を折る、歩くときに疲れる、立ってられない、背骨が曲っている、転んでも、手がつけず顔や頭にけがをする……etc. こんな問題はなぜ起きるのでしょうか。

食生活のあり方や、生活環境の変化、車社会がもたらす運動不足、テレビの弊害など、原因はいろいろ上げられます。がしかし環境だけのせいにしてはなりません。子育ての中で、基礎体力づくりを心がけましょう。0才~10才までの育て方がその子の生涯を決めます。幼児向・児童向・母親向と、各年代にわけて、やらなければいけないことを、わかりやすく解説した作品です。

【全3巻】

第一編 **みんな元気よく**

【4・5歳向】カラー(10分)

第二編 **丈夫なからだをつくろう**

【6・7・8歳向】カラー(12分)

第三編 **健康な明日のために**

【母親・教師向】カラー(27分)

指導にあたって——原田碩三



●監修者プロフィール

昭和35年、広島大学教育学部・保健体育科卒業。現在、国立兵庫教育大学大学院(幼児健康学研究室)教授/日本教育学会常任理事。著書:『幼児健康学/土まぜの形成と幼児の発達課題/指図内蔵—子どもの足が伸びない/安全教育と事故事例/保育のなかの体力づくり12ヶ月/わんぱくのすゝめ/静ね遊びのすゝめ/押しくらまんじゅう花いちもんめ/保育の実践/抱きかか

毎日の生活の中で、子供の健康づくりにマイナスになっていることはないでしょうか。ことに日常接触の多い母親にとって、そのかわり方は大変大きい影響力をもっています。スキンシップによってよく面倒をみて欲しい年齢。かまひすぎは絶対にいけない年齢というように、子供の発育、発達段階のやるべきこと、やってはいけないことの見きわめはとても大切なことです。

子供のからだのおかしな変化ということが大きく取り上げられていますが、毎日の生活の積み重ねのどこかに問題があるのではないのでしょうか。この作品をつくるに当たり、健康づくりという視点から、1日の生活の見直し、特に「栄養」「睡眠」「運動」についてみなさんと一緒に考えてみることを心掛けました。そして「運動」については、子供の発達に従って必要な「運動」を出来るだけ多く示すように努力しました。

●著作・制作・発売元

株式会社サン・グラフ